

Fuchu JC News



Index

- ・ 同伴例会
- ・ ブロックゴルフ大会
- ・ JC カップミニサッカー大会
- ・ 6月担当例会
- ・ わんぱく相撲
- ・ 50周年記念事業
- ・ 家族例会
- ・ 備後国府まつり
- ・ 8月担当例会
- ・ わんぱく冒険学校

同伴例会

去る 5 月 18 日(土)に福山市東町にある壺乃蔵というレストランで同伴例会を開催しました。当日は多くの同伴者にご来場頂き、成功することが出来ました。当日の皆様の楽しい会話と笑顔がその証拠だったといえます。

この同伴例会は毎年開催されており、目的・趣旨等はさほど変わらず、会場やアトラクションなどに趣向を凝らし、その年の委員長のカラーを出すという事業です。今年も例外なく目的・趣旨変わらず、開催日時、会場選り、服装、アトラクションを工夫しました。私の中で一つ貫いたことは、過去の形式、事例等に縛られることなく、どうすれば同伴者に喜んで頂けるか、そのことのみ執着し、計画・準備・運営を進めていくということでした。様々な意見を頂戴しましたが、所内でのイニシアティブを持って、優先順位の通り進めて行けたと思っています。ご参加頂きましたメンバー、同伴者の方に心より感謝申し上げます。有り難うございました。

(文章 事務局専任理事 高月龍樹)



ブロックゴルフ大会

本年度の広島ブロックゴルフ大会は府中主管のもと、5 月 11 日に新市クラシックゴルフクラブでおこなわれました。天候も前日まで雨模様でありましたが、当日はスタート時間までには雨もやみ、とてもプレーのしやすい天候となりました。

昨年のブロックゴルフ大会は平日での開催でしたが、今年はより多くの方に参加していただけるように、土曜日の開催でおこない、参加者数も約 200 名の方にご参加いただき、盛大に開催することができました。そして、府中 LOM からの余興イベントとして女子プロをお招きし、ショートホールにおいて「女子プロ VS 広島ブロック現役、OB」のニアピン対決をおこないました。もちろん女子プロにはハンディとしてクラブ選択を対戦相手に委ねるといった趣向を取り入れました。前半では約 27 名の方が女子プロよりもメンバーの方がニアピンといった成績でしたが、後半は運営側からの「そろそろ本気でお願いします」の一言で、わずか 5 名しかニアピンを取らせない、すばらしいプロの技を見せていただきました。

本年度のゴルフ大会も各 LOM メンバーが LOM の垣根を超えて交流を持つことができたのではないかとおもいます。ラウンド中はもとより、それ以外の場面においてもゴルフの話題に留まらず、LOM の事業のことや、お互いの仕事のことなど様々な話題についてコミュニケーションをとられている姿は、お互いの人柄に深く触れること、知らなかった魅力や考え方を知る契機となったとおもわれます。

府中 LOM のメンバーの方には設営、運営において大変ご協力いただき、そして OB の方には多数のご参加をいただき、主管 LOM として、広島ブロックに府中あり！を示すことができました。この場を借りて皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

(文章 広島ブロック(協)ソーシャルストック確率委員会 監事 櫻木 正彦)

JC カップミニサッカー大会

第 16 回 JC 杯ミニサッカー大会が 6 月 16 日に中須グラウンドにて開催されました。炎天下の中でしたが、少年少女たちが一生懸命ボールを追う姿が印象的でした。保護者もチームに混じり子ども達と力を合わせて戦いました。真剣な表情で団結しゴールに向かっていく姿にとっても感動しました。また本年度は JC メンバーがかき氷とジュースの販売、パネルを使った JC 活動の PR も同時に行いました。JC 活動 PR パネルは、とても好評で参加者の多くの方が立ち止まって食い入るように見てくれていました。新たな取り組みを導入したサッカー大会は大成功で終わることができました。大会に参加してくれた選手の皆さん、サッカー協会の方々に厚く御礼を申し上げます。

(文章 それいけ！わくわく委員会 副委員長 平 慶一郎)

6 月担当例会

6 月正副担当例会では、「今を知る～府中青年会議所の現状とメンバーの意識統一～」と題し開催させて頂きました。50 周年を迎えた 2013 年の府中青年会議所は、予算の減少と事業遂行とのギャップに苦しむ現状であり、本年はメンバー全員で青年会議所活動の過去を学び、現状を把握し、未来の方向性を協議することを趣旨での開催でした。

開催当日には、府中青年会議所の現状をメンバーにあらためて認識してもらうことができ、危機感をもって会員拡大をすることの重要性が伝わったと思います。またディスカッション、アンケートでメンバーが実際に思っていること、感じていることを吸い上げることができ、今後の府中青年会議所の事業展開などの方向性を考える素材を得ることができ非常に有意義な担当例会になったと感じております。

今後も、8 月・11 月とさらに詰めた内容の例会を開催していく予定ですので、皆様楽しみにして下さい。

(文章 副理事長 坂本 充)

わんぱく相撲



本年度は、皆様のアイデアを例会時に収集し、そのアイデアのいくつかをすぐに事業に反映させることができました。その結果、わんぱく相撲を大成功に終わることが出来ました。小学生の真剣な表情や笑顔を見ると、歴史あるわんぱく相撲事業を更に発展、継続していくべきだと改めて感じました。将来を担う地域の小学生に、挑戦の場を与えることは非常に価値あることです。今後も、多くの子どもが参加する大会にしていきたいので何卒皆様のご理解ご協力を宜しくお願いします。

最後に、全国大会の結果ですが、全員一回戦敗退でした。ただ、厳しい練習をして臨みましたので完敗ではなく、本当に惜敗という試合内容でした。来年リベンジしたいと言う小学生の負けず嫌いで前向きな姿勢に感動した大会となりました。

(文章 それいけ！わくわく委員会 委員長 小野 隆義)

50 周年記念事業

50 周年実行委員会 記念事業部会 部会長の山本です。

さる 7 月 6 日（土）に社団法人府中青年会議所創立 50 周年記念事業「竹下佳江トークショー&バレーボール教室」を府中市総合体育館ウッドアリーナにて開催いたしました。

これは、われわれ府中青年会議所が半世紀も存続してきた記念として、日ごろからお世話になっている市民の皆様、この地ではなかなか会うことのない著名人をお招きし、直接接する機会を提供することで、感謝の意を表すというもの。それと、府中青年会議所がどんな事業を行っているかということの一端でも感じていただけるよう、青少年育成というものもからめて開催し、子どもたちに、夢を与えること、夢を持って努力することの大切さといったものを感じてもらい、将来、日本を代表するようなプレイヤーになってくれることを願って開催いたしました。

会場の定員を 500 名と考えて準備を進めていましたが、整理券 500 枚は、開催一週間前にはなくなり、その後も多数問い合わせがありました。それとは別に、バレーボール教室に参加してくれる子どもたちが 100 人いたので、急遽、会場の席数を増やして、整理券がなくても入れるように段取りを変えて、広報もさせていただきました。いったいどれくらい来ていただけるのだろうかという、期待とうれしい不安を抱え当日を迎えました。

当日の朝には豪雨があり、不安がよぎりましたが、会場時には雨もおさまり曇天の中で暑さも和らいでくれて逆に良かったのではないかと考えながらも、やはり「また降るかもしれない」というのも影響してか、期待していた「お客さん多すぎて困る」という状態にはなりません。それでも、お客様や関係者合わせて、約 500 人という結果はたいへんありがたいことだと感じております。

内容に関しては、アナウンサーの大松しんじさまに進行をお任せして、竹下佳江さんと約 30 分のトークショーをしていただきました。オリンピックの話など聞いた後に、事前に集めていた子どもたちからの質問に答えるという形で進めました。

続いて、竹下さんと、もう一人補助に高木理江さんという JT で活躍されていた方と一緒に、中学生たちにバレーボール教室を行っていただきました。二人の指導に一生懸命答える子どもたち、そんな子どもたちのプレーに観客席からも拍手が送られるなど、よい雰囲気の中で進行できました。

最後に模擬試合という形で、参加校から数名ずつ集まった混成チームを作り試合をしてもらいました。いきなり一緒にするので難しい部分も多々あったでしょうが、声をだして、一生懸命プレーしてくれました。ピンチサーブという形で、竹下選手にもチームに加わっていただいたりと、参加選手も会場にも喜んでいただけたのではないかと感じました。

いろいろと至らぬ点はありましたが、メンバーに支えていただき無事開催できましたことを心よりお礼申し上げます。改めてメンバーの頼もしさや、心強さというものを感じました。このまま 60 周年、その先と、末永くこの府中青年会議所が発展していくことを祈念いたします。

最後に、本来であれば 4 月開催のところ、7 月に延期になりましたことをお詫び申し上げます。昨年より準備を進めてまいりましたが、先方の都合とこちらの思惑が合致せず、白紙に戻ってしまい、講師選定に時間がかかってしまいました。改めて



講師選定の難しさを痛感しましたが、最終的には皆様のご理解とご協力により大変良い事業ができたと感じています。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

(文章 50 周年実行委員会 記念事業部会 部会長 山本 圭一)

家族例会

7月14日の日曜日に羽高湖で家族例会を開催させていただきました。今回はあまり例会という形にとらわれず、単純に参加者、特に子どもたちを楽しんでもらいたいという考えから、ダンボールで斜面をすべったり、シャボン玉、水鉄砲や水遊びなど自由に遊ぶという内容にさせていただきました。暑い中はしゃぎ回る子どもと一緒にメンバーもそれぞれ楽しむことができ、いい家族サービスになったと思います。

また今回はお弁当をメンバーがそれぞれ家族の分を作ってくるという企画をしてみました。無理強いはないということでしたので、買って来た人、実は奥さんが作ってきたところもありましたが、中には見た目はとても本格的！だけど食べたら味が無い弁当があったり、子どもがとなりの美味しそうなお弁当ばかり食べて自分が作ったのを食べてくれないなどのなんとも微笑ましい光景もあり、とても面白い食事の時間になりました。

冒頭に書いたとおり、今回は例会という形にとらわれず、セレモニーも理事長挨拶、委員会報告のみの実施としました。おそらく例会という名前が付いている以上、違和感を覚えた方もいらっしゃると思います。ただ、今年はこれがベストだと考えて企画をさせていただきました。どのような形が正解かというのは無いと思いますが、やっぱりメンバーの家族が集まり何かをする機会というのはとてもいいものだ、あらためて感じる事業になりました。

最後になりますが、参加していただいた皆様、そして当日多大なご協力をいただいた高月事務局専任理事、後藤委員長、千葉副委員長、大変ありがとうございました。

(文章 専務理事 澤田 綱一)



備後国府まつり

7月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり名称変更後、第1回目となる府中市最大の夏祭り“備後国府まつり”が開催されました。本年度は「輝け！笑顔あふれる府中の夏祭り！」をテーマに、運営サイド、参加者、来場者、メンバーとすべての方の笑顔が一番を考え活動してまいりました。

1日目は何と言っても箆箭二種競技の町内会と一般参加者との競技の一本化、おどりパレードコースの大幅なコース変更にはじまり、府中市教育委員会総務課文化財係様を巻き込んでの祭り開催場所付近の歴史を感じてもらいながらの人形スタンプラリーなど、賛否両論ありましたが様々なことに挑戦した結果“ドレミファフェスティバル”の遺伝子を受け継ぎ、さらに地域に密着した市民参加型の祭りになり、笑顔あふれる夏まつりになったと思います。

2日目の花火大会では朝からの雨に悩まされましたが、昨年同様に運営を行いました。雨にも関わらずPR活動が功を奏したのか、16時20分過ぎには第一号の場所取りの方も来られ「府中の締めの花火は絶対良い場所で見なきゃね、昨日同様楽しみにしてるから雨に負けず打ち上げてよ」という嬉しいお言葉もいただきました。



2日間通してですが、この祭りはまだまだ大きくなる可能性を十分に秘めております。本年度は様々なムダな部分の改善、人の流れ作りに挑戦してきました。基本方針にもありますが進化、発展していくための基礎はある程度ですが固められたことと感じております。

事業終了まで多大なる応援、支援をくださった全ての方に感謝でいっぱいです。

最後になりましたが2日間に渡りメンバーの皆様には暑い中ご協力を賜り本当に、本当にありがとうございました。

(文章 やるぞ！にこにこフェスティバル実行委員会 委員長 山岡 洋平)

8月 担当例会

2月・6月に続き、「未来をかたろう！」～今日は無礼講！本音出しちゃおうぜ！～と題し、正副担当例会を開催させて頂きました。6月例会で「今を知る」というテーマで本年度の予算の現状とそれに伴う削減の施策を紹介し、メンバーに認識して頂いたうえで、例会後に事業の精査、今後の方向性を探るためのアンケートを全メンバーに頂きました。この例会ではそのアンケートを元に3つのテーマを設け、グループに分かれディスカッションを行いました。私が担当したグループは、「こんな事業をやってみよう」というテーマでしたが、若いメンバーからは自分の思い描く事業、卒業生からはあんな事業をやってみたかったなど活発な意見が飛び交い、個人の考えを本音で話して頂けたと思います。各グループ共に仮入会員から新



います。各グループ共に仮入会員から新鮮な意見が多く出たことは大きな収穫でした。府中 J C の現状を見つめ直し、今後の J C 活動において自分に何が出来るかまたどう在りたいかを考えて頂くことができた例会となったと思います。

(副理事長 栗本 淳二)

わんぱく冒険学校

第 3 回わんぱく冒険学校が 8 月 17 日 (土) 18 日 (日) に、「江の川カヌー公園さくぎ」にて開催されました。

今回は、「カヤック」中心のプログラムの中、子どもたちが「自分の力でやり遂げる達成感」「自立性」「協調性」を養ってもらうことを目的として行いました。

体力、精神力を伴うカヤックの時間が多い中、誰一人弱音を吐かず反復練習し、最終日の川下り約 2km を最後まで漕ぎきることができました。子どもたちには、「自分の力でやり遂げる達成感」を実感してもらえたのではないのでしょうか。また、キャンプファイヤーの一部に各グループによるスタントをして



もらいましたが、個人の意見を出し合う中、互いの意見を尊重し発表することで「協調性」があると感じさせられました。2 日間を通じて、事業の目的を達成することができ、子どもたちが「一歩成長した明日の自分をつくる」ことができたと実感しております。

最後に、ご参加いただきましたメンバーの皆様には、2 日間に渡り多大なるご協力いただきましたことを感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(文章 J C 活動広報活動委員会 委員長 一色 浩徳)

スマイル情報

5月スマイルボックス	
◆4月例会 無事終了!	(野宗副理事長、小野委員長)
◆ブロック野球大会 無事終了	(河村監督、井上キャプテン)
・ノーエラー・ノーヒット	(澤田専務)
◆5月誕生日の皆様	(後藤 功二君)
6月スマイルボックス	
◆同伴例会 無事終了!	(高月事務局専任理事)
◆わんぱく相撲 無事終了!	(野宗副理事長、小野委員長)
◆50周年記念ゴルフ大会 無事終了!	(益川実行委員長、井上幹事)
・実力です、ホールインワン!	(後藤監事)
◆6月誕生日の皆様	(山本圭一君、浅野裕子君)
7月スマイルボックス	
◆6月例会 無事終了!	(北川理事長、澤田専務)
◆アスパック 無事終了!	(北川理事長、河村ブロック委員長、櫻木幹事)
◆JCカップ 無事終了!	(野宗副理事長、小野委員長)
◆経済レポートの表紙飾り、おめでとうございます。	(北川理事長、山岡委員長)
◆50周年記念事業 無事終了!	(益川実行委員長、山本部会長)
◆7月誕生日の皆様	(森山 修平君)
8月スマイルボックス	
◆家族例会 無事終了!	(澤田専務)
◆国際アカデミー ブース出展 無事終了!	(河村ブロック委員長、櫻木幹事)
◆国際アカデミー デリゲイツ 卒業おめでとう!	(森山直洋くん)
◆備後国府まつり 無事終了!	(北川理事長、坂本副理事長、山岡委員長)
◆わんぱく相撲全国大会 無事終了!	(野宗副理事長、小野委員長)
◆8月誕生日の皆様	(北川理事長、益川直前理事長、中村宏君、平セクレタリー)

■ 発行 ■

社団法人 府中青年会議所
〒726-0003
広島県府中市元町 445-1
府中商工会議所館内
TEL : 0847-45-2648
FAX : 0847-45-2984

e-mail : fuchujc@fuchu.or.jp

<http://www.fuchu.or.jp/~fuchujc/>

■ 編集 ■

社団法人 府中青年会議所
会員資質向上委員会